

けやき

Vol.26**2022.5**発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里

福祉の輪を広げよう

先日、けやきの里のシンボルである「けやき」の木を業者さんへお願いし、剪定していただきました。葉も枝も綺麗に切ってもらい、すっきりしております。新しい葉や枝の成長を見るのが楽しみです。剪定が終わった後、業者さんとお話をしていると「以前、宝塚社協で勤めていたんですよ」ということをお聞きし、不思議なご縁に驚きました。たまたまご依頼した業者さんが、身近な所で福祉のお仕事に従事されていたとは。お隣の育成事業所で取り組まれている福祉器具のレンタルにも大きく関わっておられたそうです。

法人では、保育実習（保育士資格取得の為）やソーシャルワーク実習（社会福祉士資格取得の為）等で多くの学生の受け入れや、福祉に興味のある学生の法人見学ツアーなども実施しております。また、地域の方ともつながりを持てるよう、コミュニティの会議にもお顔を出させていただきます。

多くの方に法人や事業所の活動を知ってほしいと思いますし、「福祉の仕事」に興味・関心を持っていただけるよう工夫していくことも私たちの仕事だと思います。利用者支援が事業所内だけにとどまらないよう、様々な機会の中で、人と人とのつながりを大切にしていきたいです。

所長 福田 加奈子

今月のトピックス

公園清掃を頑張っています。

今年度も大堀川緑地公園の清掃に取り組んでいます。毎年5月後半から6月頃にかけては草の伸びが著しく、繁忙期となります。暑さや天気も心配ですが、熱中症対策等しながら皆で取り組んでいます。屋外へ出て作業に取り組むと気分転換にもなりますね。



準備万端！さあ出発！



各種委員会や研修等を実施しております。

障害者総合支援法の令和4年度改正において義務付けされた人員、設備及び運営に関する各種対策の強化を指針やマニュアルを作成し、委員会を開催する等して昨年度に続き実施しております。

令和3年度に厚生労働省令の公布が行われ、今なお現場レベルではなかなか馴染みのないのが正直なところ。そこで今年度は「なぜこれらの対策強化が求められているのか?」「具体的に何をすれば良いのか?」等、基本に立ち返り、日々の業務レベルと統合させながら職員全員で取り組んでいます。もちろんこれらは職員だけでなく施設をご利用される皆様や地域の皆様とも共有することができればと考えております。



新たなメンバーが加わりました。

今月から新たに1名のご利用者をお迎えしております。けやきでの生活に慣れるまで少し時間がかかるかもしれませんが、安心して過ごして頂けるようけやき一同尽力させていただきます。

他にも施設見学や体験実習、各種相談事等、遠慮なくお申し付けください。我々、宝塚けやきの里は地域に根差し、皆様と共に歩むことのできる開かれた事業所でありたいと考えております。

編集後記

今年度が始まり、2ヶ月が経とうとしています。皆様疲れ等出ておられないでしょうか? 疲れが出やすい時ほど、自身の状態を常日頃から「今、どんな状態にあるのか?」、「冷静な判断が出来ているかな?」等と、自分の感じ方や物事の考え方の傾向等を意識し、自ら把握することが大切です。

これらは「自己覚知(じこかくち)」とよばれ、対人援助職には必要不可欠です。ではなぜ自己覚知が必要なのかについて説明します。我々は利用者の主体性を重んじて、支援の対象者自身が自ら問題解決に向けて取り組めるよう働きかけます。その上で、ワーカーは個人的な価値観や歪んだ捉え方をしていないか自身を統制することが大切です。その為に自分自身を知ることが必要なのです。

これは専門職に限らず、私たちの何気ない普段の生活の中でも活かせる大切な技法だと思います。皆様も自己覚知してみませんか?

主任・サービス管理責任者 片山 翼

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚けやきの里

〒665-0825 兵庫県 宝塚市 安倉西4丁目1番1号 TEL:0797-81-9161 FAX:0797-81-9162

e-Mail: keyakinatosato@sazankafukushi.com HP: <http://www.sazankafukushi.org/>

